

(トピック型) プログラム 活動(ユニット)案 「給食1・2」

| | | | |
|--------------------------------|--|---|--|
| プログラム名 | | トピック型日本語プログラム | |
| 授業名 | 給食1・2 | | |
| 対象児童・生徒 | (○) 小低 (◎) 小中 (○) 小高 () 中学生 ◎：主な対象 ○対象 | | |
| 時間 | (25) 分 × (2) 回 | | |
| 形態 | (◎) 少人数グループ (○) 個別 | | |
| 日本語の力 (ことばの 力のものさ しで) | ・身近な物についての簡潔な質問に、主に単語で答えることができる(聞く・話す) ・ひらがなを概ね読んだり、書いたりすることができる(読む・書く) | | |
| | [聞く・話す] ステップ1 [読む] ステップ1 [書く] ステップ1 [聞く・話す] ステージC [読む] ステージC [書く] ステージC | | |
| 目標 (Can-do) | ・給食について、好きか嫌いか話したり、食べる量の希望を伝えたりすることができる。 | | |
| 既習事項 | 好き/好きじゃない、野菜や果物の名前(にんじん じゃがいも たまねぎ りんご すいかなどなじみがある野菜の名前) | | |
| 語彙・表現 | 語彙 (太字を目標とし、他は紹介程度とする) | 食べる/食べない 飲む/飲まない 給食 ごはん パン 牛乳 おかず スープ/味噌汁 多い/少ない | |
| | 表現 | ・いただきます ・ごちそうさまでした ・減らして/増やして(ください) ・おかわり(ください) ・でも | |
| コア日本語 (文型・文法/語彙) | ・動詞辞書形・ない形 ・動詞て形+(ください) | | |
| | 語彙：多い、少ない(形容詞) 給食メニュー(子どもがよく食べる献立) | | |
| 主な活動 | 学習活動 | | 学習方略 |
| | 1回目 | さまざまな食べ物/飲み物について食べる/飲むかどうか、また、給食の献立について好きか嫌いかやりとりをする。 | ・絵カードから選んだり、組み合わせたりして話すことを決める。 ・知りたい言葉を絵カードやジェスチャーなどで伝えて、日本語の言い方を聞き出す。 ・具体物を利用しながら、希望をことばで伝える。 |
| 2回目 | 給食の量について自分の希望を伝える。 | | |
| 実施上の留意点 | ・教師からのインプットとしては「～を食べる」「でも、好きじゃない」のように、助詞や接続詞を省略せずに聞かせるようにする。ただし、児童の実態に合わせて、会話(アウトプット)では、助詞や接続語を省略してもよい。 | | |
| アイデア | <児童生徒の多様性への対応> ・学校や児童の実態に応じて、「おかわり」を学んでもよい。また、「増やして・減らして」も、「多目・少な目」などの言い方に変更して実施する。 ・宗教上の禁忌の他、アレルギーがある児童には、そのことを周囲に理解してもらう活動も実施する。 | | |
| | <他のプログラム・教科との関連> ・トピック型の活動「学校の日」の学習で「給食」を学んでから行う。 ・時間があれば、好きなもので給食の献立を考える活動等に発展させられる。 | | |

◎教材のヒント

・東京都教育委員会作成(教育庁グローバル人材育成部国際教育企画課日本語指導担当)

『日本語指導ハンドブック』

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/japanese/learning_japanese/guidance_japanese/handbook

・文部科学省「かすたねっと」にも教材が掲載されています。


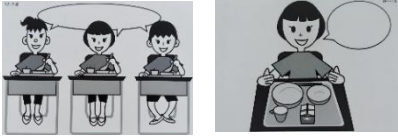
『日本語指導ハンドブック その1(4課 給食・掃除・休み時間1)』

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kyoiku/1_11_3

・『がっこうのにはんご 絵カード200』 ココ出版 8-1いただきます(給食)

<https://cocopb.com/books/978-4-904595-45-9/>

活動案 【給食 1】

| 本時の目標 | | 給食について好き嫌いを伝えたり、質問したりすることができる（聞く・話す） | |
|---------|--|--|---|
| 時間 | 活動の展開 | 活動を行うための表現 | ○教材 ◇教師の支援 △留意点 |
| 5分 | <p>導入</p> <p>1 食べるもの/飲むものについて話す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Tの質問に答える <p>・絵カードを選んで「食べるか、飲むか」を言う。</p> | <p>T：（食べ物の写真を見せて）食べる？（PS○を示す） 食べない？（PS×）</p> <p>S1：（×を出して）食べない。 S2：（○を出して）食べる</p> <p>T：（飲み物の写真を見せ）飲む？ 飲まない？</p> <p>S1：飲む S2：飲まない</p> <p>（Sが絵カードを取って）</p> <p>S1：食べる/食べない。 S2：飲む/飲まない。</p> | <p>○動詞カード（食べる／飲む）、食べ物・飲み物の写真（イラスト）、○×ペープサート（以下PS）</p> <p>△この段階では、動詞のみの応答でよい。</p> <p>○食べ物・飲み物カードは児童が選ぶように、並べて置く。 △自分で発話できない場合は、食べる？食べない？と尋ねる。</p> |
| 15 | <p>展開</p> <p>2 給食時の挨拶を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを見て、表現をリピートする。 <p>3 給食について、食べるか、飲むか話す。</p> <p>4 給食の献立について、食べるか食べないか、好き嫌いについて話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べるかどうか質問に答える。 ・好きかどうか質問に答える。 ・食べるか、好きか質問に答える。 | <p>T：（絵カードを見せ）給食。 S：給食。 T：いただきます。 S：いただきます。 T：（絵カードを見せ）ごちそうさまでした。 S：ごちそうさまでした。</p>  <p>T：給食を食べる？ S：給食を食べる。 T：（牛乳の絵を示し）牛乳を…。 S：牛乳を飲む。</p> <p>T：（献立表を示し）今日の給食は何ですか？ S1：野菜スープ T：野菜スープを食べる？ S1：野菜スープを食べる。 S2：野菜スープを食べない。 T：野菜スープが好き？ 好きじゃない？ S2：好きじゃない T：（児童が選んだ献立で）みそしるを食べる？好き？ S1：みそしるを食べる。好き。 T：先生は、みそ汁を食べる。でも、好きじゃない。</p> | <p>○絵カード（給食、いただきます、ごちそうさま）</p>  <p>△宗教的配慮として、手を合わせることを強いないようにする。</p> <p>△「助詞」をうまく言えない場合は、「給食、食べる」等でもよしとする（以下同じ）。</p> <p>○献立表：絵とひらがな表記があるもの ◇日付や献立表の絵、ひらがなを指して促す。 △汁物も「食べる」とする。</p> <p>◇「○・×」ペープサートを利用させる。</p> <p>○給食の献立の写真カード（味噌汁 野菜スープ カレー 魚料理 肉料理） △教師の例で「でも」の理解を促す。</p> |
| 5分 | <p>まとめ</p> <p>5 給食について質問し合う。</p> | <p>S1：魚を食べる？ 好き？ S2：魚を食べる。魚が好き。 S2：牛乳を飲む？ 好き？ S1：牛乳を飲む。（でも）牛乳が好きじゃない。</p> | <p>◇児童に質問をするよう促す。教師も、児童の質問に答える。</p> |
| 評価対象と方法 | | 活動5で、給食について、食べるかどうか、また、好きか嫌いかを伝えたり、質問したりすることができたか。 | |

活動案 【給食2】

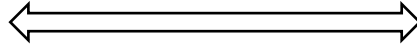
| 本時の目標 給食の量の多少について発言し、増減について希望を伝えることができる（話す） | | | |
|---|---|--|--|
| 時間 | 活動の展開 | 活動を行うための表現 | ○教材 ◇教師の支援 △留意点 |
| 5分 | <p>導入</p> <p>1 給食の献立を「好き」か「好きじゃない」かに分ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表に「好き」「好きじゃない」を書く。 ・分類して、写真を表に貼る。 | <p>T: すき (WS に書く)。</p> <p>S: すき (といいながら自分の WS に書く)</p> <p>※「好きじゃない」も同様にする</p> <p>T: ごはんが好き? (写真を渡す)</p> <p>S: ごはんが好き。(表に貼る)</p> <p>T: おかず。魚のフライが好き?</p> <p>S: 好きじゃない。(表に貼る)</p> | <p>○ワークシート (WS)</p> <p>○写真か絵のカード ごはん パン おかず みそしる / スープ 牛乳 野菜スープ カレー 納豆 魚のフライなど</p> |
| 15分 | <p>展開</p> <p>2 ごはんやおかずの量について、多いか少ないか話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・量の異なる献立の絵・写真を見て、「多い、少ない」の発話練習をする <p>3 給食の量について、自分の希望を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードの矢印を動かして「増やして」「減らして」という練習をする。 ・量の多少を見て、増やすか減らすか 児童どうして希望を伝え合う。 <p>4 食べられないものを確認する。</p> | <p>T: (児童二人に量の異なるごはんの絵を渡す) どうぞ</p> <p>T: S1 さん少ない。S2 さん多い。</p> <p>S1・2: (リピート)</p> <p>T: (多いほうのご飯を指して)</p> <p>S1・2: 多い。</p> <p>T: (小盛りごはんの絵を渡し) どうぞ</p> <p>S1: 少ない。</p> <p>T: (矢印を動かしながら) 増やして、減らして、どっち?</p> <p>S1: 増やして。(矢印の操作)</p> <p>T: 少ない。増やして。</p> <p>S1: (リピート)</p> <p>※大盛りのごはんの絵で、同様に「減らして」を練習</p> <p>S1: (献立写真を見せ) どうぞ。</p> <p>S2: 多い。減らして。</p> <p>S2: (献立写真を見せ) どうぞ</p> <p>S1: 少ない。増やして。</p> <p>T: (スープの牛肉を指して) 牛肉。食べる?</p> <p>S1: 食べない</p> <p>T: 好きじゃない?</p> <p>S1: ヒンドゥ、牛肉、だめ。(ワークシートの「だめ(たべない)」欄に絵を貼り付ける)</p> | <p>○ごはんやおかずの多いものと少ないものの写真・絵</p> <p>△量の多いものと少ないものを、同時に見せて、一方を指さして、「多い・少ない」を理解させる。</p> <p>○「増やして」「減らして」の理解のための絵と矢印</p>  <p>○献立の写真例 (魚フライ)</p>  <p>○肉の種類がわかる絵</p>  <p>△宗教上の配慮が必要な児童が、食べられない食品を周囲に伝えられるようにする。</p> |
| 5分 | <p>まとめ</p> <p>5 量の希望等を伝える表現を確認し発話する。</p> | <p>S1: カレーが好き。少ない。増やして。</p> <p>S2: 魚が好き。増やして。牛肉、だめ。牛肉を食べない。</p> | <p>○導入で作った WS</p> <p>◇S が WS を示して発話できるよう、PS や絵カードで促す。</p> |
| 評価対象と方法 | | <p>活動3で 給食の量の多少について話し、希望する量の増減を伝えられたか。</p> <p>活動5で、給食の好き嫌い、量の多少、増減の希望について WS (ワークシート) を見ながら発話できたか。</p> | |

きゅうしょく
ふやして。へらして。

給食の写真



すき



すきじゃない



おかず



おかず



だめ (たべない)